

Enhancing ESG Management

02. ESG経営の深化

Sustainability

サステナビリティの推進体制	18
マテリアリティ	19
ESGに係るこれまでの取り組み	21



ESG経営の深化

■ サステナビリティ経営の推進体制

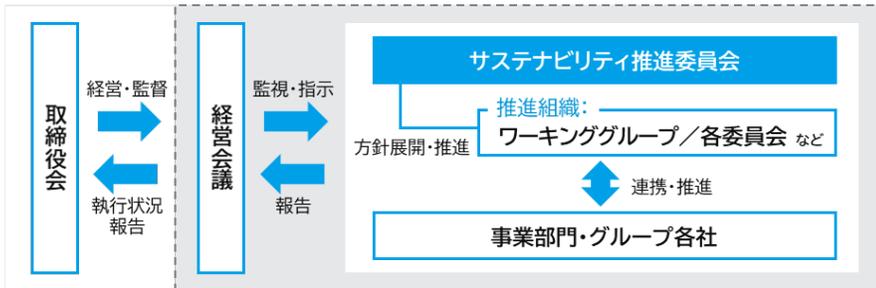
① サステナビリティ経営に対する考え方:

三ツ星ベルトグループは、基本理念「人を想い、地球を想う」のもと、企業価値と環境・社会価値のトレードオンを図るべく、ESG経営の実践に取り組んでいます。「2030年度の“ありたい姿”」においては、「持続可能な社会の実現への貢献(社会的・経済的価値の向上)」を掲げ、特定したマテリアリティを主とする各ESG課題の解決に取り組んでいます。

② サステナビリティ経営の推進体制:

環境や社会に対する企業の果たすべき役割がより大きくなった現在において、三ツ星ベルトグループが果たすべき役割と存在意義を改めて見つめ直し、ESG経営を迅速かつ効果的に実行することを目的として、2022年4月、社長が委員長を務めるサステナビリティ推進委員会を設置いたしました。

特定したマテリアリティの課題ごとに推進組織を設定し(推進組織は、各委員会、事業部門、またはサステナビリティ推進委員会の直轄組織となるワーキンググループが担当)、各課題解決への取組みおよびKPI管理を行い、また、それら取組みの進捗状況は、サステナビリティ推進委員会に報告され、同委員会により、監視、指示、判断、評価されています。また、サステナビリティ推進委員会の活動内容は、必要に応じて、取締役会に報告されます。



--- 枠内：執行機関

a. サステナビリティ推進委員会構成:

委員長 : 代表取締役社長
 委員 : 取締役5名、執行役員4名、部長級1名
 オブザーバー: 監査役 1名
 事務局 : サステナビリティ推進室(2名)

b. サステナビリティ推進委員会体制:

開催頻度 : 1回/月
 審議内容 : i) グループ全体のサステナビリティ課題戦略の策定、進捗状況の監督および助言
 ii) マテリアリティの各実行課題取組み状況に関する討議
 iii) 取締役会で審議すべきサステナビリティ課題の特定と取締役会への上申

c. サステナビリティ推進委員会主要議題一覧:

開催期	主要議題
第1四半期	<ul style="list-style-type: none"> ▶ サステナビリティ推進委員会での課題一覧と活動進捗管理について ▶ WG活動状況報告 ▶ 2021年度実績報告(CO₂排出量・水資源、資材投入量、廃棄物発生量、排水発生量)
第2四半期	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 排出量削減目標値に対する達成見通し状況について ▶ カーボンニュートラルに向けたロードマップについて ▶ 2022年度第1四半期CO₂排出量実績について ▶ グループ行動基準の改定について ▶ 人財戦略について
第3四半期	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 人権デューデリジェンスについて ▶ 気候変動関連外部評価の結果報告 ▶ グループ拠点でのCO₂排出量削減目標値の設定について ▶ 環境配慮型製品の開発 ~中長期ロードマップの策定・開示について
第4四半期	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境配慮型製品の開発 ~サステナブル材料を使用した製品の開発について~ ▶ 2022年度CO₂排出量実績について ~2022年度1Q~3Q ▶ 中間年度でのCO₂排出量削減目標値設定について ▶ ESGデータ集について ~情報開示のブラッシュアップ ▶ 気候変動に伴うハザードスクリーニング

Introduction

三ツ星ベルト・ブランドストーリー

三ツ星ベルトのあゆみ

事業概要

理念体系

トップメッセージ

ビジョンと戦略 ~'21中期経営計画

ESG経営の深化

サステナビリティの推進体制

マテリアリティ

ESGに係るこれまでの取り組み

E:環境

基本方針と活動実績

環境ガバナンス体制

脱炭素社会実現に向けた取り組み

TCFD提言に基づく情報開示

資源循環社会実現に向けた取り組み

生物多様性保全の取り組み

環境データ

S:社会

基本方針と活動実績

人財戦略

人権の尊重

バリューチェーンマネジメント

社会貢献活動

社会データ

G:ガバナンス

コーポレートガバナンス

コンプライアンス

リスクマネジメント

ガバナンスデータ

Appendix

MITSUBOSHI
 SUSTAINABILITY
 REPORT
 2023

マテリアリティの特定

■ ミツ星ベルトグループが取り組むべき重点課題(マテリアリティ)

ミツ星ベルトグループは、基本理念「人を想い、地球を想う」のもと、持続可能な社会の実現に貢献するため、当社グループが取り組むべき重点課題(マテリアリティ)を特定しました。「環境」、「社会」、「ガバナンス」のESG課題の解決に向けた積極的な活動の展開を目指します。

■ 確実に迅速な目標達成を目指して

2022年、社長が委員長を務めるサステナビリティ推進委員会を設置し、SDGsのゴールをミツ星ベルトグループのESG経営におけるマテリアリティ(重要課題)としてとらえ直し、マテリアリティごとに実行課題とKPI(目標値)を設定いたしました。その実行内容は、サステナビリティ推進委員会によって監視、指示、判断、評価されています。また、サステナビリティ推進委員会には取り組む課題に応じた推進組織が設けられており、事業部門、関係会社から情報を収集・分析し、実施状況報告、戦略提案等を行うことでサステナビリティ推進委員会活動を活性化させ、より迅速で確実なESG経営の目標達成を目指しています。

■ マテリアリティの特定プロセス

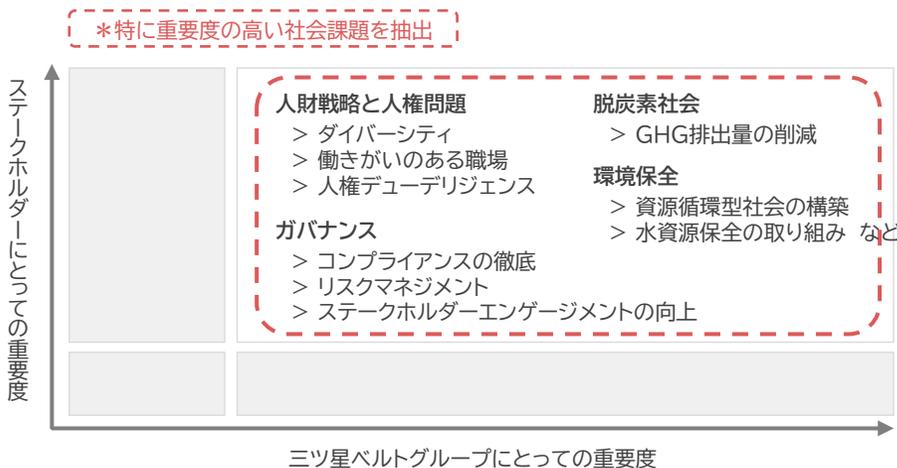
右記3つのステップによりミツ星ベルトグループのマテリアリティを特定しました。

SDGs、ISO26000、GRIなどの国際的なガイドラインを基に当社グループが取り組むべき社会課題を抽出し、サステナビリティ推進委員会およびその下部組織であるワーキンググループでの議論を重ね、取締役会での決議をもって当社グループのマテリアリティを特定しました。

特定したマテリアリティについては、サステナビリティ推進委員会および取り組む課題毎に設けられたワーキンググループにて課題ごとの進捗度・達成度を確認し、当社グループ全社での取り組みをより力強く推進してまいります。



■ 分析の結果と当社のマテリアリティ



※ 上記図中の赤枠内に記載の課題は、記載テキストの位置によって重要度の高低を示すものではありません。

Introduction
ミツ星ベルト・ブランドストーリー
ミツ星ベルトのあゆみ
事業概要
理念体系
トップメッセージ
ビジョンと戦略 ～'21中期経営計画

ESG経営の深化
サステナビリティの推進体制
マテリアリティ

ESGに係るこれまでの取り組み

E:環境
基本方針と活動実績
環境ガバナンス体制
脱炭素社会実現に向けた取り組み
TCFD提言に基づく情報開示
資源循環社会実現に向けた取り組み
生物多様性保全の取り組み
環境データ

S:社会
基本方針と活動実績
人財戦略
人権の尊重
バリューチェーンマネジメント
社会貢献活動
社会データ

G:ガバナンス
コーポレートガバナンス
コンプライアンス
リスクマネジメント
ガバナンスデータ

Appendix

マテリアリティ 一覧

ESG項目	マテリアリティ	取り組む課題	目標および取り組み内容	関連するSDGs
E 気候変動対応	脱炭素社会実現への貢献	● GHG排出量の削減 (2013年度比)	<ul style="list-style-type: none"> ● CO₂排出量 2023年度： 22%以上 2025年度： 27% 2030年度： 46% 2050年度： カーボンニュートラル ● 再エネ電力の導入 ： 2023年度までに神戸事業所、四国工場へ導入。CO₂排出量5,000t/年以上削減 ： 2030年度までに綾部事業所、名古屋工場へ導入。CO₂排出量9,500t/年以上削減、他拠点の導入具体化 ● 太陽光発電システムの導入 ： 2030年度までに国内4拠点に導入、CO₂排出量500t/年以上削減。 ● カーボンニュートラル燃料の導入 ： 2023年度までに神戸事業所に導入。CO₂排出量100t/年以上削減。他拠点の導入具体化 ● 低排出量燃料への切替 ： 2025年度までに四国工場、綾部事業所で重油からLNGへ切替。CO₂排出量3,500t/年以上削減 ● 省エネ活動の推進 ： CO₂排出量原単位を前年度比0.5%以上改善 ● Scope3排出量の算出 ： 2023年度までにScope3算出方法を標準化し削減目標を設定する 	  
	環境保全への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 資源循環型社会の構築 ● 水資源保全の取り組み ● 環境保全活動の推進 ● 環境管理システムの維持 ● 環境配慮製品の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物の再資源化率目標 ： 1%未満(ゼロエミッションの達成) ● 水使用量削減目標 ： 冷却水循環システムを導入し、2030年度までに国内拠点の水使用量を2021年度比半減する ● エネルギー使用量の削減目標 ： エネルギー使用量原単位を前年度比0.5%以上改善 ● 化学物質排出・移動量 ： 150t以下 ● VOC排出量目標値 ： 73t以下 ● 環境管理システム維持目標 ： 全13サイトにおけるISO14001の認証の維持 ● 2022年度：環境配慮製品管理体制の整備完了 	
S 社会的責任の遂行	人財戦略の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● ダイバーシティの推進 ● 安全・健康 ● 働きがいのある職場づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性管理職者数：2030年度までに2022年度比2倍以上(4%以上または7人以上)にする ● 従業員の喫煙者割合：2030年度までに15%以下/肥満率(BMI 25%以上の割合)を2030年度までに25%以下にする ● 2023年度に従業員エンゲージメント測定方法を標準化し目標設定する 	 
	人権と人格の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権デューデリジェンスの推進 ● 全社行動基準の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2022年度：責任者を含めて管理組織を構築し、人権方針を制定して人権デューデリジェンス活動に着手する ● 2023年度：サプライヤーに人権デューデリジェンスの実施を要請し、必要に応じて説明を行い、実施状況を監視する ● 2022年度：三ツ星ベルトグループ行動基準を改定し、グループ全体への周知を完了する 	
G 経営の透明性向上と 腐敗防止	ガバナンスの強化と充実	<ul style="list-style-type: none"> ● ステークホルダーエンゲージメントの向上 ● コンプライアンスの徹底 ● リスクマネジメントの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2022年度：TCFD提言に従った気候変動対応に関する情報開示の実施 ● 2022年度：CSRレポートの内容見直し ● 2022年度：三ツ星ベルトグループ行動基準を改定し、グループ全体への周知を完了する ● 2025年度：三ツ星ベルトの全事業拠点で事業継続計画の有効性を検証し、改善する 	

ESGに係るこれまでの取り組み

時期	カテゴリー	取り組み内容
2000年 11月	S	グループ社員で構成するボランティア団体「ふれあい協議会」を結成、住民と企業の共生によるまちづくりを推進
2003年 10月	G	執行役員制度の導入
2015年 5月	G	リスク管理委員会、コンプライアンス委員会を設置
2018年 10月	E S G	CSR推進委員会を設置 ※2021年3月にSDGs推進委員会に改称
2020年 6月	S	働き方改革推進委員会を設置
2020年 12月	E S G	SDGsの具体的取り組みを策定
2021年 3月	G	人事・報酬諮問委員会を設置
	E	CO ₂ 排出量削減目標値を策定（2013年度比、2023年度:20%削減、2030年度:35%削減、2050年:CN）
2022年 4月	E S G	サステナビリティ推進委員会及びサステナビリティ推進室を設置（サステナビリティ委員会 委員長は代表取締役社長、委員は経営会議メンバーで構成）
	E S G	サステナビリティ推進委員会のワーキンググループを組織
5月	E	CO ₂ 排出量削減目標値を見直し（2023年度:20%→22%以上削減、2030年度:35%→46%削減）
6月	G	初の女性取締役就任（社外取締役割合を1/3以上に） 取締役の任期を2年から1年に短縮
7月	E	TCFD提言に基づく情報開示の実施（CDP2022）
11月	E S G	マテリアリティの特定・開示
	S	人権デューデリジエンス活動に着手（人権方針、人権DD実施要領、人権DDガイドラインを制定）
	G	グループ行動基準を改定
12月	E S	各イニシアティブへの賛同を表明（①TCFD、②TCFDコンソーシアム、③人的資本コンソーシアム、④GXリーグ）

時期	カテゴリー	取り組み内容
2023年 1月	S	従業員エンゲージメント向上のための取り組みを強化（エンゲージメントの測定を開始）
	S G	各種方針の策定・開示（①調達方針、②ディスクロージャーポリシー）
2月	E	サステナビリティ・リンク・ローン 契約を締結
	E	CO ₂ 排出量削減目標値について、中間年度の目標値を新たに策定（2025年度:27%削減（2013年度比））
3月	S G	基本理念、経営基本方針などを、新たに理念体系として整理
6月	E S G	ESG投資の代表的な指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定

Introduction

三ツ星ベルト・ブランドストーリー

三ツ星ベルトのあゆみ

事業概要

理念体系

トップメッセージ

ビジョンと戦略 ～'21中期経営計画

ESG経営の深化

サステナビリティの推進体制

マテリアリティ

ESGに係るこれまでの取り組み

E:環境

基本方針と活動実績

環境ガバナンス体制

脱炭素社会実現に向けた取り組み

TCFD提言に基づく情報開示

資源循環社会実現に向けた取り組み

生物多様性保全の取り組み

環境データ

S:社会

基本方針と活動実績

人財戦略

人権の尊重

バリューチェーンマネジメント

社会貢献活動

社会データ

G:ガバナンス

コーポレートガバナンス

コンプライアンス

リスクマネジメント

ガバナンスデータ

Appendix